

青森県教育支援 プラットフォーム

上北地区協議会

2014

春号

ご挨拶

この2年間、学校と地域の企業・NPOなどの関係機関と連携・協力し、キャリア教育を支援するための仕組みづくり、人づくりを進めて参りました。そうした中、一番強く感じたことは、子ども達が体感することで、その可能性を引き出せることの素晴らしさ。そして、自分の仕事を通じて「生きる力」を一所懸命に伝えようと頑張っている大人の方々自身が、共に学ぶことに気づき感動している姿です！決して一方通行ではなく、人と人が繋がり、さらに地域が繋がっていく。地域社会が、教育に関わる事で「地域の力」が育てられて行くのです。この場をお借りして、お世話になった学校関係者はじめ企業の方々へ心から御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

上北地区協議会 会長 太田博之

教育支援プラットフォームは、 子どもたちのキャリア教育を支援します

教育支援プラットフォームは「地域ぐるみで子どもを育む社会」の実現を目指し、地域住民・企業・NPO・各種団体等の協力を得ながら、学校・家庭・地域において充実した教育活動が展開されるように支援する仕組みです。子ども達は、キャリア教育によるさまざまな「人とのかかわり」や多様な「体験活動」を通して、「生きること」「働くこと」「学ぶこと」が相互につながっていること、また時には重なるものであることを感じ取っていきます。この「人とのかかわり」と「体験活動」が効果的に実施できるよう、学校と企業・NPO・各種団体とを結び、子どもたちのキャリア教育を支援しているのが教育支援プラットフォームです。

実践活動のご紹介

子どもたちが「人とのかかわり」や「体験活動」を通して力を伸ばしていただけるよう、学校と実社会をつなぐ活動に取り組んできました。

キャリア教育「職業人講話」

平成25年11月28日、十和田市立北園小学校においてキャリア教育「夢に向かって」(6学年対象)が行われました。地域で働く6名の職業人が講師として学校へ出向き、子どもたちが自分自身の夢や将来の生き方について考えていけるようお話をしてくださいました。

講師のおひとり有限会社ヒーローネット代表取締役の五十嵐耕司さんは、IT情報分野のプロとして、「手軽に取り入れられるようになった情報を知識として利用するだけでなく、その情報を活用し、さまざまな人とのつながりの中から新しいものを生み出してほしい。」と、コミュニケーション力の大切さを子どもたちに伝えました。また、経営者としての立場から、「リーダーに必要な力は、統率力、実行力、中でも一番大事な力は決断力」と、自身の経験をもとに、これから社会に出る子どもたちにエールを送りました。

<<子ども>> NPO法人ハビタの代表 中沢洋子 氏
 <<製菓>> 榊御菓子のみやきん 川口裕平 氏
 <<医療>> 十和田市立中央病院 吉村純彦 氏
 <<化学>> 住友化学(株)三沢工場 重永均 氏
 <<公務員>> 三沢警察署 泉田信浩 氏
 <<情報>> 俺ヒーローネット 五十嵐耕司氏



働く大人から話を聞くことは、視野の広がりや学校生活の大切さ、学習意欲の向上につながります

先生の感想

職業人の方々のお話はすごくいい。そこに至るまでのつらさとか経験談は子ども達にとってすごくいい刺激になるし励みになります。これからも機会があればお話をさせていただきたいと思います。

職業人講師から

子どもたちの話を聞く真剣な目と、活発に感想を発表してくれたことがとても印象的で素晴らしいひとときを過ごさせていただきました。これからも出来る限り子ども達を応援したいと思います。ありがとうございました。

「子ども科学教室」



八戸工業大学と三沢航空科学館・NPO法人テイクオフみさわが共同で研究開発した最先端の科学技術が、理科や科学に対する興味や関心を高めます。

「仕事体験学習」



早い時期からの職場での社会体験は、働くことの大切さを学ぶだけでなく、自己理解を深めたり地域の産業に誇りを持つきっかけになります。

子供達の声

◆ 心に残ったお話は「お客様から感謝された時、最初に感謝されたお客様のことは一生忘れない」将来は人から感謝されるような人間になりたい。

◆ 人とたくさん話をして普段から「言葉のキャッチボール」が上手になりたいです。今の時代は機械化も進んでいるけれど、人と接することも大切にしていきたい。